

阪神高速道路株式会社が発行する

「サステナビリティボンド」への投資について



京都銀行（頭取 安井 幹也）は、阪神高速道路株式会社が発行するサステナビリティボンドへの投資を実施しましたのでお知らせいたします。

サステナビリティボンドは、環境的課題（グリーン性）および社会的課題（ソーシャル性）の解決に資する事業に資金使途を限定して発行する債券です。

同社はサステナビリティ・ファイナンスフレームワークを策定し、2023年9月に株式会社格付投資情報センター（R&I）から、国際資本市場協会（ICMA）が定義するサステナビリティボンドガイドライン等に適合している旨のセカンドオピニオンを取得しています。

本債券発行による調達資金は、インフラの老朽化対策や交通安全の確保、災害発生時の機能維持、渋滞対策等のソーシャルプロジェクトのほか、気候変動対策や脱炭素化に向けたグリーンプロジェクトに充当されます。

当行では、今後もこのような事業活動を通じて環境・社会・経済の課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

<本債券の概要>

銘 柄	阪神高速道路株式会社第32回社債
年 限	3年
発行額	250億円
発行日	2025年2月13日
充当事業	以下の道路建設等事業へ充当 <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路の特定更新 ・高速道路の新設および改築 ・道路照明のLED化 ・高速道路の修繕および災害復旧 ・排水性舗装 ・脱炭素化資材の導入

以上

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにSDGsの目標のアイコンを明示しております。

